

広報 第24号
町のすがた
(3月1日現在)
人口 男 3,471人
女 3,837人
計 7,308人
世帯数 1,556



発行 昭和45年3月15日 三島町役場
新三島 3401
TEL (代) 3401
(夜) 3401
印刷 北越印刷株式会社
長岡市福住1丁目
TEL (3) 0306

農耕用軽油の 免税申請は3月23・24日

軽油を購入するときは、軽油引取税(一リットルにつき十五円)を含めた代金を支払っていただきますが、農耕用耕運機に使用する場合は免税されます。
免税されるためには、財務事務所から免税証の交付を受けて、購入の際に軽油と引換えしなければなりません。
今年の証の免税申請受付と交付は次のように指定されました。

- ◎ 三島町役場
- ◎ 注意事項
- 申請するとき必ず必要なもの
- 1、あたらしい申請する人
- (1) どんな機械かはっきり判る書類(例えばカタログなど)
- (2) けん引するものは役場の証明
- (3) けん引しないものは買った店の売渡し証明
- (4) 耕作面積証明書
- (5) 印かん
- (6) 引きつづいて申請する人(去年もした人)

- (1) 使用者証
- (2) 耕作面積証明
- (3) 使用済印かん
- (4) 免税軽油引取明細書
- (5) 使用者証の有効期限が、S45・5・31以前で切れぬ人は機械の所有証明
- (6) 機械を買換えたときはあたらしい申請する人と同じもの
- 3、共通して気を付けなければならぬこと
- (1) 共同の場合は全員の印かん
- (2) 人から耕うんを頼まれたものは依頼人証明とその人の耕作面積証明
- 4、不明のときは、長岡財務事務所または、役場産業土木課におたずねください。

食品営業 許可の更新を 早めに申告を

食品関係の営業許可の期限が切れる方は、至急食品衛生指導員を經由し、役場関係、または保健所へ更新手続きをしてください。

郵便物の事故 早めに申告を

郵便物の事故については、郵便事故申告という制度があります。
原則として、郵便物を差出した郵便局の「郵便事故申告受付口」の表示がし

土地、建物の相続についてお知らせ下さい。

答 相続とは広い意味では遺言による財産処分の場合を含めて、人が死亡したときにその人の財産上の法律関係が他に移ることをいいます。
そしてこの場合、法定相続による場合と、遺言による場合に分けられます。
すなわち人が死亡した場合、その人と一定の親族関係にある人が財産上の法律関係を当然に承継することになります。

住民窓口 相談室

土地建物の相続
とてが戦後民法が改正されて、共同相続がたて前となりまし。

土地建物の相続
とてが戦後民法が改正されて、共同相続がたて前となりまし。

自衛官 ただ今募集中

防衛庁では只今自衛官を募集しています。自衛官を一生の職業としたい人、技術を身につけ、良い就職を望む人、スポーツ等自分の心身を鍛えたい人、貯金をし、自営のための資金を得たい人、若いエネルギーが思いきり生かれます。



春はもうすぐそこに

今日はたのしいひなまつりと歌声は流れる子等に幸おおかれ

新年度予算 審議はじまる

昭和四十五年度予算を決める、第一回定例会が三月四日から始まり、連日慎重な審議がつけられていきます。
会期は三月十七日までの十四日間が予定され、一般会計の総額は二億三千九百九十六万二千円を計上し、次の重点施策を中心に事業の推進を図りたいとして町長の施政方針が示されました。

- 一、健全財政の堅持
- 二、町民サービス(税の軽減外)
- 三、公共事業の積極推進
- 四、都市計画の推進

昭和四十三年及び昭和四十四年度の二カ年に亘っての建設事業であった体育館の建設、災害復旧事業も終わったので、昭和四十五年度は、新たな構想のもとに、重点施策の推進を図ってゆきたい。
次に教育費は、環境整備、教育効果をあげるため、前年度の約三十四%増を予定するとともに三島中学校の建設資金として二百萬円の積立を始めます。
そのた、里山パイロット事業の継続、県補助及び融資対象外となる土地改良事業の補助や環境衛生、予防衛生事業並に各種団体の育成にも昨年と同じ程度の予算を計上しています。
これらのことからは歳出予算の主な事業であって、その財源は歳入予算の約四十五%を地方交付税に求め、町税では三百萬円の減税をした二十七・六%とその他の財

三月の衛生行事

| 日 | 種目 | 対象 | ところ | とき |
|------|-------|----|--------|------------|
| 3・26 | 胃ガン検診 | 一般 | 七都市公民館 | 9・00~12・00 |
| 3・25 | 同 | 同 | 同 | 同 |
| 3・24 | 同 | 同 | 同 | 同 |
| 4・3 | 三歳児検診 | 同 | 同 | 同 |
| 4・7 | 乳児検診 | 同 | 同 | 同 |
| 4・9 | 妊婦検診 | 同 | 同 | 同 |

「たばこ」
よそで買わずに町内で
たばこ消費税は
町税の18.1%を占めている

書がありました。
中には都市計画のことや長期構想に關係ある真剣な御意見でそのいくつかは、目下検討計画中の長期構想の項に合致するものがあり、甚だ意をよよくしました。
今後共々支援の程をお願いたします。
都市計画係

「意見ありがとう」
さる二月二十三日夕月、から帰ると机上に無名の封

市街化区域 ほぼきままる

いろいろとりざたをされ、この地域住民の期待と不安のなかに連日のように説明会や審議検討の集りが催されてきました。

市街化区域と調整区域の線引き作業は、県や町そして住民の意見がおりこまれて二月二十六日より調整が行なわれていたが、このほど成案を得たので、公表される運びとなりました。

私共の長岡地区は三月十日に長岡市表町小学校で公聴会が行なわれ、ついで地方審議会の議を経て公示されることになりました。

市街化区域は別図のよう



●役場、〒局、祀寺院、神社、区域界

に区域が指定され、市街化が促進されることになりま

す。その他は市街化を抑制する調整区域となります。

市街化区域の概要は、大字上岩井・吉崎・脇野町・宇比宮・一部よりなり、県道と板ノ関原線を中心に山手側は宅地と山林等の接線があり、またバイパス地先の界に、東はバイパス地先の耕地を含め農道や水路にそって図のような界となつて

米の生産調整に 理解と協力を

調整目標は 六七ヘクタール 三一九トン

日本国民と米は切り離せないものです。それは米がもつとも大切な国民食糧であり、また農業生産の基本であるからです。米の豊凶に日本国民はいつも一喜一憂してきました。

戦後の食糧難を克服して今日みられるようなめざましい農業生産力水準に達したのは農家の皆さんの努力の賜ものであります。

ところで、ここ数年の間米の生産と消費の間に重大な変化がでてきました。

米の消費は、年間一人当り昭和三七年一八・三Kgであったものが四三年には一〇〇・一Kgに減少し、米の総需要量は、人口増加や加工用需要の増大にもかかわらず、最近の五カ年で一〇〇万トン以上も減少し、現在では年間二〇〇万トン程度になっていま

す。

他方、米の生産は、最近では一・四〇〇万トンを超えるようになってきました。

この結果、国の古米在庫は、昨年十月末で五六〇万トン(配給量一〇カ月分)となり、いまのままでは今年十月末には約八〇〇万トンにも達する見込みです。

さらにこのまま推移すれば、生産量を平年作としてみても、これに年々約一五〇トン以上の過剰が新たに積み重なっていき、米の過剰状態は、いまや一時的のものでなく、恒常的なものとなってきているのです。

このような米の需給の關係から、極力、国民の米に對する正しい認識と理解を深め、米の需要を少しでも減らすよう努力しても、これは限界があり現在のよう米の生産を許すような需要の増大は、とうとう望むべくもなく、他方、たくさんたまっていく過剰米については、飼料などへの特別処理も考えざるを得ない段階となつています。

食糧管理制度は、戦中戦後を通じて、国民食糧の確保消費者の家計の安定、あるいは農業経済の向上に大きな役割をはたしてきました。

しかるに米の過剰等にもなつて、食糧管理特別会計の赤字は巨額なものとなり四年度に一般会計から繰り入れる金額は三千億円で、このままでは食糧管理制度の健全な運営も

むずかしくなっています。そこで、米の需要の拡大に努力する一方、うまい米の生産を進めるとともに、米の生産を必要に見合つて早急にも縮小することがどうしても必要となつています。

米は、わが国農業の基幹作物であり、農家経済のうへからみても、その生産を縮小することは大変困難なことではあります。わが国農業の長期的な発展のために、非常緊急の措置として、一五〇万トン以上(うち五〇万トンは地方団体民間団体等の土地取得で期待)を目標に米の生産調整を行うことになり、三島町には、三二九トン、面積では六七ヘクタールの生産調整目標を示されました。

このため三島町では、米生産調整推進協議会および農家組合長会議を開催し、部落別目標を作成し、御協力をお願いいたしました。

生産調整のため、昨年作付した水田を、本年転作または休耕された場合には、基準収量一キロ当り八一円一〇アール、七七アールでは平均三九、七七円の奨励金が交付されます。

わが国農業が初めて経験するこの困難な事態については、長期的な展望に立って、また当地域としては、将来の食糧生産基地となるためにも生産調整に御理解と御協力を賜るとともに、うまい米作りに一層の御精進をお願いいたします。

務めはたして閉校

県立与板高等学校 脇野町分校



県立与板高等学校脇野町分校は、昭和二十三年六月に開校、その後二十三年の星霜を経て、去る三月八日をもって閉校の幕を閉じました。

この脇野町分校は地域の勤労学生を対象として勉学の途がひらかれたもので、この間二百九十二名の人材を広く社会に送りだし、その優秀さは地域社会に定評

もうすぐ一年生

新入学のこどものいる家庭ではなにかと心づかいをされていることでしょう。入学を前にこれだけはしつておきたいものです。

◎例えば通学服のことや、

◎おはようございます。さようならのあいさつができるように。

◎ハイとイエエの意思表示ができるように。

◎ハンカチやチリ紙の使い方ができるように。

◎自分の名まえが、いえる、



入学を前に移行学級

いところ、先生はやさしい人ということを理解させて、よるこんでゆけるようにいたしましょう。

◎学校は楽しいところです。大切です。

◎学校は楽しいところです。大切です。

◎学校は楽しいところです。大切です。

春の火災 予防運動はじまる

4.1~4.7

今年も四月一日から四月七日まで春の火災予防運動を実施することになりました。

みんなでござつてこの運動を盛りあげましょう。

昨年県下でうしなわれた尊い人命は三十三名でした。また本年の二月十日までに七名の犠牲をみています。

わずかなゆだねが大事となつていきますから次のことには特に注意してください。

◎就寝前の火の元点検はかならずいたしましょう。

◎タバコの吸殻は、かならず消しましょう。

◎わが家の防火と避難について、みんなで話しあつたう、訓練もしてみましよう。

◎作業所はねる前、出かける前に一巡しましょう。

◎子供に火あそびをさせないようにしましょう。

◎山林野火の発生も春が多いです。たき火の後始末を完全に、ハイカー等の入山者も心してください。

◎車両の点検整備と消火器の維持管理を十分にしてください。

住民の声

都市計画に思う

都市計画区域の決定のこ

そして、みんながよくなることを忘れないようにして

事業推進に当つては勇猛果敢に行なう反面、地域の歴史や因習、そして因果關係などが町の将来を左右するポイントであることを強く感じます。

都市計画に思う

大字 脇野町の住人

三島町も漸くひとなみに都市計画が施行され、伸びゆく豊かな町としての足がかりを作ることになり、喜びと期待をよせる住民の一人です。

去る二十日ごろから関係者に対して説明会がおこなわれ、ある程度の理解をすることができたと思つて、具体的には、ぶつかつてはじめてあわてることが多いのが実情であらう。

ともあれ誰かがなんとかしなくてはと考へながらも、実際にはやれないのが普通である。そのいみでは、チャンスとも言えるとおもいま

て頭がいたくなつて来る。今後益々具体化するにしたがって予想しなかつたよう

なことがでてくると思うが、勇気をもって対処しなければならぬ。自分のために

新入学(園)児童を交通事故から守ろう

- ◆家庭でも交通安全を教えよう
- ◆学校・保育所でも交通安全を教えよう
- ◆運転者も交通安全を守りましょう

今日は人の身、あすはわが身 交通災害共済に加入しよう

3月5日現在の加入者1,118名、加入率71.9%

常時受付ています。4月の加入会費360円(中学生以下300円)